学校番号	３００２

令和８年度　農業科（資源動物科）

教科	農業	科目	（学）ヒトと動物	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

ヒトと動物の両方を理解し双方からの視点を大切にして、社会を発展させるためのヒトと動物の関係を学術的に学習します。1 年次ではヒトが動物とどのように共生し暮らしを豊かにしていくのかの総合的な学習に加え、２年次で学習した生理遺伝、育種、繁殖、動物行動学を基礎に、3 年次では動物園学や野生動物学、人と動物の関係学についても理解を深めます。また、生態学、動物関係法令、動物倫理を理解したうえで、展示動物や野生動物と社会のかかわりについても学習します。そして、身につけた知識や技術を日々の動物の飼養管理実習及び普段の実生活や社会に活かしていくことを最終的な目標とします。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
ヒトと動物の関係および動物観について理解する。
動物園学・野生動物学について理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
動物を取り巻く環境と社会、動物との共生について、合理的かつ創造的に解決する力を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】
展示動物や野生動物と社会のかかわりについて、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・ヒトと動物の多様な関係及びと動物観について、総合的に理解している。 ・動物園の役割や社会的機能などについて理解し、必要な知識を習得している。 ・野生動物の保護・保全や鳥獣害管理に関して必要な知識を習得している。	・動物の特性及び人と動物の共生等に関する学びを活用し、現代社会との関わり方や新しい活用について考えることができる。 ・ヒトと動物の両方を理解し、社会を発展させるためのヒトと動物の関係について、科学的な見方と課題解決できる実践力、判断力を身につけている。	・動物の特性及び人と動物の共生等に関心を持ち、主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。 ・展示動物や野生動物と社会とのかかわりに関する学習に粘り強く取り組み、自らの学習を調整することができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	人と動物の関係学	関係学とは何か お互いに影響しあう人と動物	a：ヒトと動物の関係学について理解し、動物の飼養管理に視点を総合的に習得している。 b：ヒトと動物との関わりと共生について、その課題と発展について考えることができる。 c：ヒトと動物の関係学について、自らの学習を調整し、基礎的な知識を身につけている。	授業観察 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表 定期考査	授業観察 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表 定期考査	事前課題 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表
	日本における動物園の社会的機能	動物園の役割 動物園の種類・形態 動物の展示方法 環境エンリッチメントの方法	a：動物関係法規や動物園の社会的機能について正しく理解し、知識を身につけている。 b：動物の種類・形態や動物の展示方法などを理解し、飼育計画や経営管理について考えることができる。 c：動物園の役割や展示方法等について、関心を持ち、主体的に実践的に学ぶ態度を身に付けている。	授業観察 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表 定期考査	授業観察 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表 定期考査	事前課題 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表
	生態学	動物の進化 動物の個体群 生態系の構成要素	a：動物の進化や個体群について正しく理解し、知識を身につけている b：生態系の構成要素などを理解し、生態系内での動物の変動について考えることができる c：動物の進化や個体群、生態系等について、関心を持ち、主体的に実践的に学ぶ態度を身につけている。	授業観察 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表 定期考査	授業観察 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表 定期考査	事前課題 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表

2学期	動物の行動と社会 日本の野生動物保護と地域社会	野生動物保護 動物法令法規（絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約）	a：動物関係法規及び野生動物保護について正しく理解し、知識を身につけている。 b：種の保全や絶滅危惧種等、野生動物保護についての理解を深め、現代社会との関わり方や人と動物の共生について考えることができる。 C：野生動物保護管理について正しく理解し、社会の発展と動物との関わりについて理解し、必要な知識を身につけている。	授業観察 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表 定期考査	授業観察 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表 定期考査	事前課題 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表
	動物の行動と社会 日本の野生鳥獣管理と地域社会	日本の野生鳥獣 動物法令法規（鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化委関する法律）	a：動物関係法規及び野生鳥獣管理について正しく理解し、知識を身につけている。 b：野生鳥獣の個体数管理や鳥獣害対策についての理解を深め、現代社会との関わり方や人と動物の共生について考えることができる。 c：野生鳥獣管理について正しく理解し、社会の発展と動物との関わりについて理解し、必要な知識を身につけている。	授業観察 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表 定期考査	授業観察 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表 定期考査	事前課題 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表
3学期	地球環境のなかでの多様な関係	生物多様性 絶滅のおそれのある野生動物の種の保全 在来種の保全	a：地球規模での人と動物の共生について考え、生物多様性等について正しく理解し、知識を身につけている。 b：人と動物の共生、生物多様性について理解し、現在の状況や課題等について考え、表現することができる。 c：人と動物の共生について主体的かつ実践的に学ぶ態度を身に付けている。	授業観察 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表 定期考査	授業観察 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表 定期考査	事前課題 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表

	野生動物の活用	狩猟による個体数管理とジビエ利活用 野生動物資源の歴史と活用	a：狩猟による個体数管理とジビエについて正しく理解し、知識を身につけている。 b: 狩猟による個体数管理とジビエ活用の観点から、どのような動物との関わりや活用が必要なのか、その課題と発展について考え、表現することができる。 C：狩猟による個体数管理とジビエについて、その課題と発展について主体的に考え、取り組み事ができる。	授業観察 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表 定期考査	授業観察 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表 定期考査	事前課題 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度